ひろか だより

第348号
令和3年7月21日
発　行
弘果 弘前中央青果株式会社
TEL 0172-27-5511
弘果

飲料OK
24h/365日
氷販売中
詳しくは
弘前丸魚まで

最盛期を迎えたアムさんメロン競売の様子

つがりあんメロン アムさん 数量増で順調な取引

当社オリジナルブランドつがりあんメロン「アムさん」の入荷が、7月上旬から中旬にかけてピークを迎えました。

今年産は肥大期において天候に恵まれたこともあり、順調な入荷となりました。販売面では、コロナ禍での販売環境が懸念されましたが、ギフト需要等で荷動きが良く、当社の取扱い（7月15日までの累計）は、数量141万9千㌔（前年比128.6%）、平均単価1㌔あたり653円（同97.9%）と、高単価で推移した昨年に近い単価と数量増で、順調な取引となりました。

アムさんの入荷は7月下旬までの予定で、今後も各つがりあんメロンの入荷が続きます。

今が旬 地物トマト

トマトの色付きを確認する齋藤さん

津軽地域では、ハウス栽培されたトマトの収穫が本格化しています。弘前市清野袋の齋藤信悟さんのハウスでは、昨年より2日遅れの6月19日から収穫が始まり、現在ピークを迎えています。

齋藤さんが栽培するトマトの品種は、身が硬く、裂果への強さと食味の良さを兼ね備えた夏秋栽培向け大玉品種「麗月」（れいげつ）で、4月上旬から下旬にかけて、ハウス6棟へ約4000本の苗を定植しました。

今年の生育状況について齋藤さんは「4月後半から5月中旬の低温の影響で生育が思わしくなく小玉傾向ですが、品質、食味は良く仕上がっています」と話していました。今後の生産目標としては「正品率を高め、10㌃あたり10トンを目指します」と意気込んでいました。

旬を迎えたトマトの美味しい調理法は、当社ホームページの、旬の食材でつくるおすすめレシピ「ひろかごはん」で公開しておりますので、是非ともご活用ください。

ひろかごはん QRコード

ひろかごはん

見直し摘果の徹底で高品質なりんご生産へ

令和3年産のりんごの生育状況は、3月、4月と気温が高めに推移したことから、主力のふじの開花が5月3日と、昨年より4日早く、平年より5日早い開花となりました。また、黄色系品種を中心に霜害が見られたほか、開花期の降雨、強風により、不受精（カラマツ）が見られ、品質低下が懸念されますが、側果対応により標準的な着果量は確保できる見込みです。

当社りんご部において7月16日、りんご肥大調査を行った結果、各品種とも平年並から平年を上回っており、順調に推移しています。

高品質りんご生産には、適正着果量の確保が重要です。りんご生産者の皆様には、仕上げ摘果が終了した園地でも、見落としや成らせ過ぎの部分が無いか、必ず見直しを行うようお願いいたします。

今年も「適正着果」「適期摘葉」「適期収穫」に努め、高品質で美味しいりんごを生産しましょう。

紅まくら 初競売

地場産西瓜「紅まくら」の初競りが6月17日、当社第1卸売場に於いて行われ、5Lサイズ1箱が、昨年と同額の3万円で競り落とされました。

午前7時から始まった競売には、せり人、買参人ともに、新型コロナウイルス感染防止の対策を施して臨み、この日上場された158箱（前年比219.4%）が次々と取引され、平均単価は5203円（同79.9%）と昨年を下回りました。

夏本番を迎え地場産西瓜は、ハウス栽培物、雨除け栽培物、露地栽培物が順次収穫、出荷され、8月中旬頃まで出回ります。

森のひかりを収穫する齋藤さん

森のひかり

夏秋いちご「森のひかり」は、従来の夏秋いちごと比較して、省力、低コストでの栽培が期待でき、果実の形が良く、鮮やかで美しい紅色が特徴です。

田舎館村の齋藤有希さんは5棟のハウス（約350坪）で「森のひかり」を栽培しています。齋藤さんは「いちご生産者にとって、生産性の安定が非常に重要だと考えます。『森のひかり』は病気に強く、高品質で、11月頃まで収穫ができる等、メリットが多く、生産量や収益等、あらゆる見込みが立てやすいことで『安定』した農業経営につながると考えます」と特徴を踏まえ話していました。

「森のひかり」の栽培、販売に関するお問い合わせは、当社農産指導課及び果実部までお願いいたします。

短期アルバイト・臨時社員
募集中

弘果弘前中央青果
電話：0172-27-5511
担当：（総務課）
小川・楠美・奈良

津軽りんご市場
電話：0172-72-1211
担当：（総務課）花田

各社HPでも公開中です

令和3年産 りんご開市

8月3日（火）
弘果弘前中央青果
午前8時30分～
津軽りんご市場
午前8時30分～

両市場とも当日は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、入場時の検温、アルコール消毒を行います。また、必ずマスクを着用してご来場ください。

弘果友の会

食を支えてくれる生産者の皆さまを応援するため、分野や業種を越えた地域企業が手を取り、弘果友の会が結成されました。

弘果友の会加盟店で、弘果及び津軽りんご市場の出荷登録番号票カード（左側参照）を提示すると、様々なサービスを受けることができます。

出荷カードを提示するとお得なサービスが受けられます！

サービス内容の詳細につきましては参加企業各社にお問い合わせください

サービスを提供する企業は全部で 21 社

- （有）外川農機商会
- （株）佐藤長
- （有）くまばん
- （株）日本チケット
- （株）光建自動車整備
- 那須自動車整備工場
- 鰐 come
- いすゞ自動車東北（株）
- オートバックス弘前東店
- あおば登記・法務事務所
- Ri と Bi のたまご
- カフェ　デュボワ
- （株）南部屋旅館（海扇閣）
- トライワンズベスト株式会社
- （株）工藤酸素店
- （株）小林紙工
- 弘前モータースクール
- （有）アサヒ印刷
- （株）弘前ドライクリーニング工場
- 和電工業（株）
- 鍼灸＆スポーツマッサージ Revive

※（株）佐藤長は、新サービス準備中につき、現在利用できません。

弘果友の会についてのご意見・ご要望をお寄せください。
お電話はこちら：0172-27-5511（担当：総務部　猪股）

弘果 HP 内 弘果友の会専用フォームは
QR コードを読み込んでください

青森きくらげ

デビュー2年目 ブランド化に高まる期待

青森県産業技術センター林業研究所が開発し、県がブランド化に取り組むアラゲキクラゲの新品種「青森きくらげ」は発売2年目を迎え、7月6日に店頭で販売が始まりました。

青森県階上町の有限会社石沢きのこでは、今年から栽培が本格化され、現在収穫のピークを迎えています。生育中のハウスでは、気温、湿度が調節され、菌床から大ぶりのきくらげが所狭しとはみ出していました。同社石沢社長は今年の生育について「品質、大きさ共に満足のいく出来です」と話し、弘果担当者は「肉厚でみずみずしく、コリコリとした食感が特徴で、癖がなく、どんな料理にも合います。ご家庭で色々な調理法を試してみると食卓が楽しくなるので、是非お買い求めください」とこれからの販売に向けて意欲的に話していました。

「青森きくらげ」は青森県内量販店を中心に、10月末頃まで販売される予定です。

菌床からはみ出すほど大きく成長した青森きくらげ

農業の未来を拓く！新規就農者

農業に大きな夢と希望を抱いて就農した人にスポットを当て紹介します。農業の未来を切り開く就農者を弘果グループは応援します。

古川 大主希（だいすけ）さん (32)

【住所】弘前市取上
【家族構成】妻、子供2人
【作付状況】1.5ヘクタール（弘前市大森）
【就農年】2020年
【きっかけ】高校卒業後に上京し、販売業をしていました。数年後にUターンをして、りんご関係や材木店で勤務していました。転機となったのは、休日に親戚のりんご園の作業を手伝った際に栽培に興味を持ち、「自分で生産したものを販売していきたい」という気持ちが芽生えてきたことでした。やがて、縁あって弘前市大森のりんご園を取得し、りんご生産者への第一歩を踏み出しました。

【現在】就農当初、研修等は行わず、毎日りんごの樹と向き合って仕事を覚えていきました。時折、園地がある地域の先輩農家の方々が気にかけてくださり、栽培について色々と教えていただき、とても感謝しています。就農2年目を迎え、1年目を振り返り、反省を踏まえて、より高品質なりんご生産を目指して前に進んでいます。

【夢・展望】りんごの品種構成の見直しや、桃の栽培にチャレンジする等、農業を生業に生活を営んでいくためのしっかりとした基盤づくりが、当面の現実的な目標です。

【座右の銘】「今日で自信が確信に変わった」先日引退を決めた大投手松坂大輔氏の言葉です。学生時代野球部で甲子園を目指していた私にとって、松坂投手は目標であり、ヒーローでした。農家としてまだ1回のマウンドに立ったばかりですが、仕事に誇りと自信を持ち、農業経営を軌道に乗せることで「確信」に変えられるよう、日々研鑽を重ねて仕事に励みます。

労働力不足と就労場所のマッチング

障がい者雇用への取り組み

摘果作業の様子【弘果りんご園】

弘果では、りんご農家の労働力不足と障がい者の就労支援を結びつける事を目的として、弘果りんご園において、障がい者の方々が作業を行い、各々の作業特性を見極める取り組みを行っています。将来的には、「摘果が得意」「積み込みが得意」等、各々の特性を活かし、りんご農家が必要とする作業工程での労働力として対応することで、雇用の促進へ繋げていきます。

この取り組みは「就労サポートひろさき」「N－STAGE」両事業所の協力の下、行われています。弘果が業務請負契約を交わし、弘果りんご園で行われる作業を、同社担当者が作業者個々の仕事に対して評価を行います。

6月は摘果を中心に作業が行われました。各作業段階に応じての作業員の特性や、配慮する点を把握するために、摘果作業では「中心果だけを残し、側果を摘んでいるか」等、その作業に応じた評価内容が設けられています。6月の作業日、両事業所の利用者は、脚立を用いた高所作業にも慣れた様子で摘果を行っていました。

事業所の担当者はこの取り組みについて「通勤に関すること等、クリアしなければならない課題は多々ありますが、作業を通して障害の特性を把握し、それに応じた就労のマッチングができれば、農業、福祉双方にとって良い結果となるのではないでしょうか」と期待を膨らませ、弘果りんご園の葛西剛取締役は「りんご業界は慢性的な労働力不足です。現在行っている取り組みがモデルケースとなり、業界全体の労働力不足解消へつなげていきたい」と話していました。

今後は、摘葉、収穫等の作業を行う予定です。

新型コロナウイルスワクチン

職域接種

新型コロナウイルスワクチンの接種を、企業や大学など1000人以上の単位で行う職域接種を6月27日、当社が青森県内で最初に実施しました。

当社は、地域への生鮮食料品の安定的な供給と、秋のりんご産地市場としての受け入れ体制を整えるために、政府が申請受け付けを始めた6月8日に申請しました。

当日の接種は弘前花き卸売場を会場に行われました。接種時間の分散や会場の動線を工夫し、空調が効いた広い空間に5つの接種レーンを設け、従業員や市場関係者約1200人が1回目の接種を受けました。今回の職域接種について大中実常務は「近年行ってきたインフルエンザワクチンの職場接種のノウハウが生かせると考えて、接種の業務提携をしている病院と相談して、早期に申請することができました。1回目が計画通りに進めることができてほっとしています。2回目も効率よく接種できる様に、工夫していきたい」と話していました。

2回目の接種は、7月25日に行います。

約1200人が接種を受けた会場の様子

弘前総合地方卸売市場内業務等の制限について（7/19現在）

関連情報は各社HPから 弘果 津軽市場

入場者	運送会社・取引業者 生産者・一般のお客様	消毒・マスク着用（常時） 不要不急のご来社、不要な場内施設への立ち入りはお控えください
競売	セリ人	消毒・検温・マスク着用（常時）
	買参人	人数制限（競売1ヶ所につき1買参人あたり1名のみの参加） 消毒・検温・マスク着用（常時）
	視察・見学	原則不可

市場内業務等の制限は状況に応じて更新されますので、最新情報はHPをご確認ください

桃 つがりあんピーチ 選果機利用受付中

糖度測定を行うことにより「つがりあん」ブランド強化を図り、有利販売に繋げます。
【品種】川中島白桃、さくら白桃
※その他品種についてはご相談ください。
【選果料】1箱250円（税別）
※中コンテナ1箱あたり
【申込締切】7月31日（土）お問い合わせは果実部まで

りんごトレサビ 7月19日 受付開始

トレサビセンターへ来場される際のお願い
①マスクの着用及び検温・アルコール消毒
②待機場所では密を避け距離を空ける
③WEB受付の活用で混雑を避ける